

地域振興部長 説明要旨

地域振興部長の赤坂でございます。

どうぞよろしく願いいたします。

それでは、今議会にお願いしております地域振興部関係の議案について御説明いたします。

<議案関係>

まず、議案書の24ページをお開き願います。

議案第82号「附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例」は、知事の附属機関として和歌山県区柄ナンバープレート審議会を設置するため、議会の議決を求めるものでございます。

<予算関係>

まず、補正予算につきまして、補正予算説明書の「出」の1ページをお開き願います。

第2款「総務費」第2項「企画費」第7目「交通対策費」の、総合交通政策課の「1 和歌山電鐵貴志川線支援事業」で273万2千円の増額をお願いしております。これは、貴志川線において上下分離方式への移行に向け、施設管理体制を整えるための調査に支援を実施するものです。

<主な施策等>

続きまして、地域振興部における主な施策等についてご説明いたします。

まず、人口減少が深刻化する中、住民が安心して暮らし続けられる魅力ある地域をつくるため、地域内外の人々が集い、交流できる「賑わい拠点」

を形成し、地域コミュニティの活性化や交流人口の拡大に取り組んでまいります。

移住・定住の推進につきましては、移住者や関係人口の創出・拡大を図るため、関係人口の創出拠点を渋谷に設置するとともに、国のふるさと住民登録制度モデル事業に参画するなど、地域外人材との交流や協働を通じて、関係人口の創出から移住・定住へと繋がる施策を一体的に進めてまいります。

また、地域の風景や観光資源等を図柄として取り入れ、地域の魅力を全国に発信するため、令和9年秋の交付を目指して和歌山県図柄ナンバープレートへの導入に向けた手続きを進めてまいります。

次に、公共交通につきましては、人口減少や高齢化等を背景とした地域交通の課題に対応するため、各市町村の現状把握及び課題分析を行い、地域特性やまちづくりを踏まえた持続可能な公共交通の再構築に向けた取組を推進してまいります。

また、地域住民の日常生活に必要な移動手段を確保するため、地域間幹線系統のバス路線の維持や、利用者の利便性向上に取り組むバス事業者等への助成を行うなど、県地域公共交通計画に位置付けた各種施策を実施してまいります。

引き続き、地域公共交通の維持確保及び利便性の向上を図るとともに、市町村、各事業者と連携し、公共交通の利用促進に取り組んでまいります。

次に、デジタル社会の推進につきましては、デジタル技術を活用して本県の課題解決や魅力向上を図るため、民間事業者からの提案に基づいた実証事業やドローンの利活用を促進するとともに、eスポーツの推進やゲームクリエイターの活動支援など、「ゲーム」を原動力としたデジタル人材の育成・集積と地域の活性化に取り組んでまいります。

最後に観光についてでございます。令和7年の観光客数は、大阪・関西万博の開催による関西圏の観光需要の高まりや、インバウンドが引き続き

好調であることもあり、観光入込客総数、日帰り客数、延べ宿泊客数ともに前年を超え、特に外国人延べ宿泊客数は令和6年の約51万人を超える約71万人となり、史上最高を記録しました。

この勢いを一過性に終わらせないよう、現在放送中の大河ドラマ「豊臣兄弟！」を契機とした誘客や、本県の強みである「温泉」を核とした新たな切り口での取組など、本県の魅力を活かしたプロモーションを進めてまいります。

加えて、熊野白浜リゾート空港を活用した首都圏からの更なる誘客や、国際チャーター便の誘致促進、紀伊半島三県の連携強化などを通じて、多くの観光客に本県を訪れてもらえるよう引き続き取り組んでまいります。

また、今年度より観光産業共創課を新設し、高級宿泊施設や観光レジャー施設等の観光産業投資を民間と協働して促進することで、観光地の高付加価値化を目指してまいります。

私からの御説明は以上でございます。

御審議の程、よろしくお願いいたします。